

福島明成高等学校生徒との座談会

主催：(一社)福島県建設業協会

福島県建設業協会では、建設関係学科に進学した生徒を対象に、将来の建設業界への就職に備え、進路希望者の不安解消や理解の増進を図ることにより、雇用のミスマッチの解消や建設業への進路選択者を増加させることを目的に、生徒との座談会を開催しております。

福島明成高等学校では、環境土木科2年生と座談会を行い、座学として建設業の役割や新社会人に求められる資質などを学びました。また、地元建設企業等の方をアドバイザーとして招き、建設業の仕事のやりがいや魅力などを講話いただき、生徒が抱える建設業への就職に対する不安や疑問について意見交換を行いました。

＜日 時＞ 令和7年2月7日（金） 13:30～15:00
＜場 所＞ 福島県立福島明成高等学校 視聴覚室（福島市永井川）
＜対象学年＞ 環境土木科 2年生 25名
＜コーディネーター＞ 齋藤 真教諭、志賀秀登教諭、松原 均教諭
＜アドバイザー＞ 地元建設企業2社（佐藤工業(株)、(株)日新土建）
福島県土木部建設産業室、(一社)福島県建設業協会

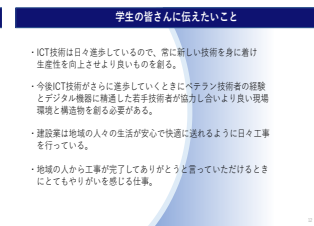
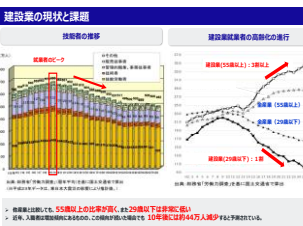
座学1「建設業の役割等について」

講師：福島県土木部建設産業室 主査 伊藤経介 氏



座学2「建設業への就職に向けて」

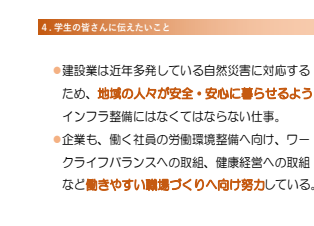
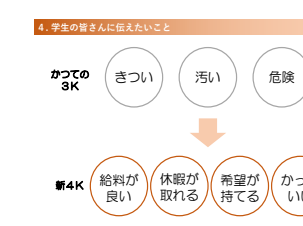
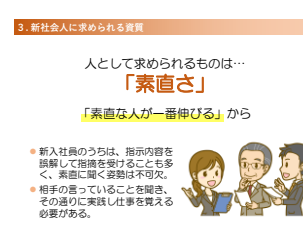
① ICT活用の現状と課題、今後の展望 … 講師：佐藤工業(株) 土木本部土木部課長 浦山和也 氏



② 建設業を担う若手技術者に望むこと … 講師：(株)日新土建 工事課係長 増田圭吾 氏



③ 新社会人に求められる資質 … 講師：(株)日新土建 総務部長 古山政行 氏



座談会「意見交換」

事前に行った就職意向調査の集計結果を基に、生徒が就職する上で特に興味・関心を持っている項目に対して、建設業の現状をお伝えし、意見交換を行いました。主な意見は次のとおり。

Q 1 資格について

A 1 当社では、1級土木施工管理技士を取得すると月6万円の支給手当がある。2級土木施工管理技士でも3万円支給されるため、在学中に取れる資格は取得しておいた方が良い。

Q 2 今のうちに学んでおいた方がよいこと

A 2 ・日頃の勉強が1番大事。また、普段から物事に対して「なぜ？」という疑問を持つことが大切。
・アルバイトやボランティア活動などの社会経験を積んでおいた方が良い。社会に出たときにその経験が必ず役に立つことが多い。

Q 3 社会人になるための心構え

A 3 素直さ、コミュニケーション能力、報連相が最も大切になるので今のうちに身に付けてほしい。

Q 4 社会人と学生の違い

A 4 責任感。自分のミス1つで会社に大きな影響を与えてしまうこともある。分からないことをそのままにせず、1日でも早くたくさんのかんことを吸収することが大切。

<座談会の様子>



<生徒からの感想>

- ・建設会社の仕事内容を詳しく知ることができ、将来の仕事についてイメージすることができた。
- ・働き方改革によって、以前よりも休みが取れることや給料が高くなっていることを知ることができ、就職活動の参考になった。

<穂積科長からの講評>

現在の3年生は25名のうち、三分の一ほどの生徒が建設業関係の進学・就職が決まっている。2年生は進路希望調査をしているが、三分の二の生徒が建設業関係の進学・就職を希望している。座談会で貴重な時間をいただき、建設業に関する様々なお話を聴くことができたので、次年度の進路決定に向けて励んでほしい。自分自身の進路なのでよく考えて先に進んでほしい。

